

名古屋市守山区社会福祉協議会

お話会実例集



お申し込み～実施の流れ

①実施希望の3ヶ月前までに守山区社会福祉協議会までお申し込みください。

※希望日を第3希望まで忘れずにご記入ください

住所：〒463-0048 名古屋市守山区小幡南一丁目24番10号

TEL：052-758-2011 FAX：052-758-2015

②当事者や施設職員等と一緒に打合せをします。

打ち合わせ日時を希望を申込用紙にお忘れ無くご記入ください。

(社会福祉協議会が、各協力者との打合せ日を調整します)

③お話し会 実施 (以下は今までの実践例)

* 視覚障がい～盲導犬同伴でのお話し会 詳細はP3

【講師】寺西美予氏 (区内在住 視覚障がい者)

【場所】トワイライト教室や特活室、体育館等の少々広めの教室

【使用機材】大型テレビ or スクリーン、投影機、マイク

【内容】家の中または外出時にできること・できないこと等を中心に、便利グッズの紹介や寸劇を交えながら進めます。

特に、じゃがいもの皮むき実践は毎回大好評です！

ほかにも、クイズ形式で盲導犬の仕事や生活について紹介します。

* 視覚障がい～交流型お話し会 詳細はP4

【講師】盲養護老人ホーム瀬古第二マザー園 (2～3名)

【場所】各教室に一人ずつ当事者に入ってもらうことができます

【使用機材】特になし

【内容】便利グッズや点字本等も紹介し、実際に触ってもらうことができます。

また、視野狭窄・中心暗転・白濁の視界を体験できる特殊ゴーグルを使って、視覚障害体験をしてもらうこともできます。

* 聴覚障がい 詳細は P5

【講師】 龍の手 手話サークル（当事者・通訳者合わせて 4 名程度）

【場所】 体育館・特活室・教室等、応相談

【使用機材】 スクリーン、投影機、マイク

【内容】 聾者の生活や普段のお仕事についてのお話や、身近なものや人の名称について、手話ではどのように表現するのかを学んでいただくことができます。

* 筋ジストロフィー 詳細は P6

【講師】 マックス T A K A（筋ジストロフィー当事者・梶原崇志氏）
& Y O S H I（オハナカフェ 365 施設長・倉田佳和氏）

【場所】 体育館、特活室等広い場所

【使用機材】 スクリーン、投影機、マイク、延長コード

（冬期は講師の周りにストーブをご準備いただければ幸いです）

【内容】 明るく自由に人生を楽しむ梶原さんと、そのお手伝いをする倉田さんとの対談式お話会です。

梶原さんの普段の生活についてや、挑戦していること、通所しているオハナカフェでの楽しい行事等について紹介します。

盲導犬同伴での視覚障がいお話し会

守山区在住の視覚障がい当事者にご協力いただき、お話し会を開催することができます。

*家の中でできること・できないこと

ここでのメインはじゃがいもの皮むき！

器用に包丁を使い、触覚を頼りに綺麗に皮むきを実演します。

また、食品の賞味期限を読み取ることができない等をできないことの例として挙げます。

*便利グッズの紹介

できないことを補うための便利グッズ等を紹介します。

例えば、点字版と点ぴつを用いて、賞味期限等をメモし、食品に貼りつけておけば、いつでも確認することができます！

ほかにも、点字付き絵本やカレンダー、UNO等を紹介し、会場内に展示していただくことも可能。実際に手に取り、ゆっくり見ることもできます。

*盲導犬の紹介

盲導犬のトイレ写真や買い物をする際の写真等を紹介したり、クイズ形式にしたりして、盲導犬の仕事や生活について紹介します。

後方の生徒にもよく見えるように、実際に生徒の周りを一周して歩いて紹介することも可能です。

*寸劇（視覚障がい者への関わり方）

「道で出会ったとき」「電車で席を譲るとき」等の寸劇をとおして、街で視覚障がい者に出会った時の声掛けの仕方について学ぶことができます。

★上記はあくまで実施例です。

学習内容についてご希望があれば是非ご相談ください！



瀬古第二マザー園との交流型お話し会＋各種視覚障がい体験について

守山区内の福祉体験学習では、瀬古第二マザー園さんにご協力いただき、マザー園に入所している当事者の方々と交流型お話し会を行っています。特殊ゴーグルをつけて、様々な種類の視覚障がいの視界を体験していただくことも可能です。

1回の訪問につき、2～3名の当事者を派遣することができます。

* 視覚障がい当事者の生活について

マザー園職員と当事者が対話形式で日常生活について語っていただきます。マザー園での生活だけでなく、マザー園に入る前や今までに経験したこと等についての話も聞くことができます。

* 便利グッズの紹介

普段使用している便利グッズや点字本を紹介し、実際に手に取って触れていただいたりすることができます。

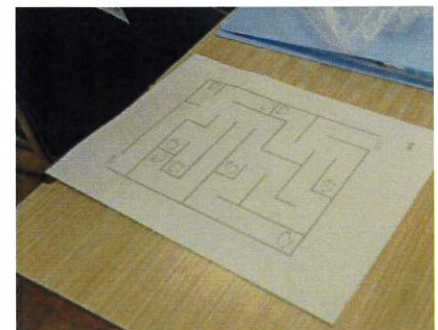
墨字本（一般的に売られている活字の本）を点字本にすると、何倍もの量になることが見て取れます！

* 各種視覚障がい体験

視野狭窄・中心暗転・白濁の状態を体験できるゴーグルを掛けた状態で、自分の名前を書いてみたり、用意された迷路プリントに挑戦してみたりすることで、普段は簡単に出来ることが難しく感じるかもしれません。

★上記はあくまで実施例です。

学習内容についてご希望があれば是非ご相談ください！



聴覚障がい当事者によるお話し会

* 聾者の生活について等

お話し会では、普段の生活やお仕事のこと、聾学校時代の話や、今まで苦労した経験、楽しかったこと等、ご希望の内容に沿って聾者にお話してもらうことができます。

* 聾者2人の会話を当てよう！

「あなたの仕事は何ですか?」「私は会社員です」等、聾者同士で会話し、生徒たちに何を話しているのかを当ててもらいます。

次にマスクをした状態で会話をします。

例えば、「あ」と「5」は同じ指文字。「朝5時に起きました」等、口元が隠れていると伝わりにくい会話があることを学んでいただきます。

* 簡単なあいさつや名称について

スクリーンに手話のイラストを映しながら「おはよう」「こんにちは」等、日常でよく使われるあいさつや、「お父さん」「お母さん」等の人や物の名称について紹介します。

また、写真を見せて「これは手話でどう表現する?」と質問し、立候補者数名に自分なりの手話で答えてもらう体験をとおした、学びの場をつくります。

★上記はあくまで実施例です。

学習内容についてご希望があれば是非ご相談ください！



筋ジストロフィーお話し会

* 梶原さんの生き立ちや日常生活を紹介

いつも明るく前向きに人生を送る梶原さんによる自己紹介。

『筋ジストロフィー』という病気についても説明。（「映画『こんな夜更けにバナナかよ』の主人公と同じ病気」）

梶原さんが通所するオハナカフェ365での楽しい行事も紹介しながら、通所者が色々なことにチャレンジしている様子を知ることができます。

* 豊かに生きるために・・・

病気とともに、より豊かに生きるために利用している医療機器等や、周りの人々について紹介します。

「経管栄養は、香りが上がってきて味も分かるんですよ。満腹にもなる。」等、普段はなかなか聞けない貴重な話を聞くことができます。

* 梶原さんが挑戦していること

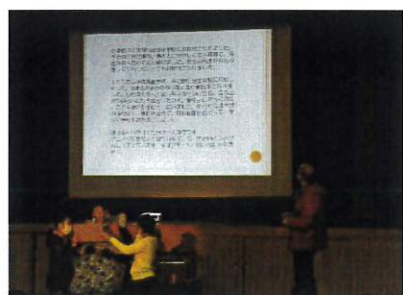
いつも積極的に色々なことに取り組んでいる梶原さん。

例えば、『劇団OHANA』と称し、梶原さんが脚本・監督・演出を務めた演劇を守山文化小劇場で上演したこともありました。

YouTube『オハナカフェ365』のチャンネルでも公開しているので、是非チェックしてみてください！

★上記はあくまで実施例です。

学習内容についてご希望があれば是非ご相談ください！



～コロナ禍において安心・安全に福祉教育を実施するために～

その1 基本的な予防措置の徹底のお願い

福祉教育では、外部の講師が訪問することになります。
換気や学習前後の手洗い・うがい・手指消毒の徹底をお願いします。
また、学習に参加する方は、当日朝の検温をお願いいたします。
少しでも体調不良を感じた方がいれば、参加をご遠慮いただいておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。
上記の予防措置は、当日従事する講師・社協職員も徹底させていただきます。

(別紙「福祉教育実施における感染防止対策チェックシート」もご確認ください)

その2 感染や濃厚接触疑い・緊急事態宣言発令の場合

学校・講師・社協のいずれかに新型コロナウイルス感染(疑い含む)や濃厚接触者認定があった場合、授業を延期(または中止)させていただきます。
また、国や県等から緊急事態宣言や外出自粛要請が発令された場合も、延期(または中止)させていただく場合がございますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

その3 会場のご配慮と座席配置に関するお願い

会場につきまして、参加者同士や講師との距離が十分とれるような体育館等の広い教室をご準備いただくようお願いいたします。
また、座席につきましても、前後左右最低1mの間隔を空けて配置していただきますようご配慮願います。
普段の学校生活では、もう少し距離を縮めて学習しているかと思いますが、外部講師による学習となりますので、万全の対策を講じた上で実施させていただきます。
ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

